

ドナルド・キーン・センター 柏崎  
二〇一七年度後期特別企画展

# ドナルド・キーン ロンドン 倫敦に還る。

2017  
8月13日(日) 12月24日(日)

ドナルド・キーンを日本へと導いたロンドン、そしてケンブリッジ。そこは第二の故郷。そのロンドンで、古浄瑠璃『越後国柏崎弘知法印御伝記』の里帰り公演が実現しました。その公演を、ドナルド・キーンの旅を、写真家・宮澤正明は撮りつづけたのです。

## 宮澤正明写真展

### 第一章

古浄瑠璃『越後国柏崎 弘知法印御伝記』  
大英図書館里帰り公演

一九六二年に鳥越文藏先生が大英博物館図書館で見つかるまで、日本国内には台本が現存していなかった古浄瑠璃『越後国柏崎 弘知法印御伝記』。ドナルド・キーンは、その復活上演を勧めました。越後舟太夫と西橋八郎衛は越後猿八座を立ち上げ、二〇〇九年に三十年の時を超えて、角書き(サブタイトル)の地、柏崎で復活上演を果たしたのです。ドナルド・キーン、鳥越文藏をはじめ、復活上演を果たした関係者は、次に、ロンドンでの里帰り公演を願ったのです。その夢が、二〇一七年六月、正本(台本)が眠る大英図書館で実現したのです。

会場  
ドナルド・キーン・  
センター 柏崎  
2階企画展示室

主催◎公益財団法人ブルボン吉田記念財団

後援◎新潟県、新潟県教育委員会、柏崎市、柏崎市教育委員会、東京都北区、東京都北区教育委員会、東京都北区立中央図書館、新潟日報社、BSN新潟放送、N.S.T.、T.E.N.Y.テレビ新潟、U-X新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、柏崎日報社、柏崎時報社、柏崎マニマニ放送協会のブルボン、弘知法印御伝記ロンドン公演実行委員会

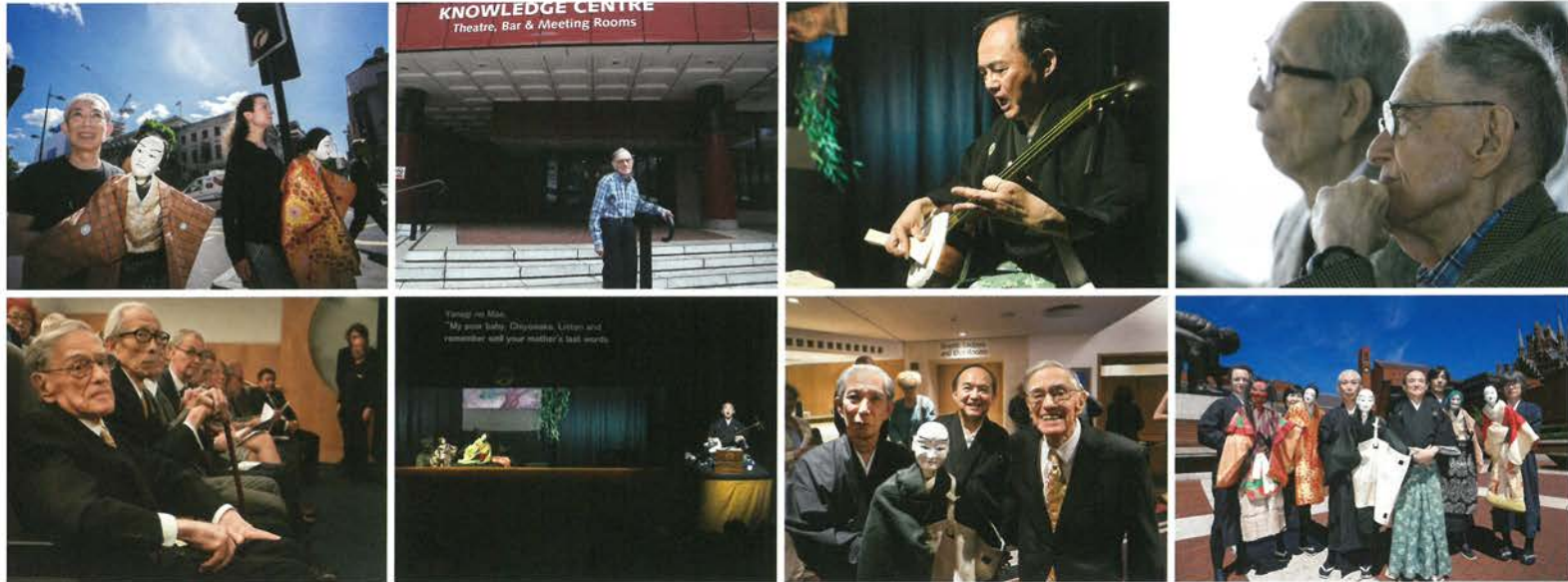


上演初日、鳥越文蔵先生は、「一冊の浄瑠璃本が世に知って欲しいと私を待っていたのです」と発見時の思いを語り、「人形たちもロンドンを待ち望んでいた」と人形遣い、西橋八郎兵衛は話しました。そのロンドン公演の実現までには、正本発見から半世紀以上、柏崎での復活上演からも8年という歳月が流れており、その間、大きな困難を乗り越えなければならなかったのです。日本での復活上演から8年。その間、2011年には3・11東日本大震災

災が起こり、原発事故が発生。誰もが不安を抱くなか、越後猿八座が控えていた公演

を太夫、上原誠己さんはキャンセル。以来、西橋さんは誠己さんと訣別。以後、共演を拒む西橋さんを師匠の鳥越先生が説得し続けました。一方で、原発に批判的なキーン先生は誠己さんに理解を示し、やがて、養子に迎え入れます。父となったキーン先生から「これがお前の一生の仕事だから」と言われ、誠己さんは古浄瑠璃の独演を続けながら、謝罪の気持ちを受け入れられる日を待ち続けました。そして、昨年、鳥越先生の説得が実り、二人は和解。こうして、ロンドン公演への道が拓けたのです。ロンドン公演、それは人と人の絆が何よりも大切だと言うことをあらためて教えています。ロンドン大英図書館での里帰り公演に秘められた多くの人々の思いを、一本の人形浄瑠璃が生み出したロンドン公演を、宮澤正明が切り撮った写真の世界で紹介したいと考えます。

## 宮澤正明、<sup>ロンドン</sup>倫敦の古浄瑠璃《越後国柏崎 弘知法印御伝記》を撮る。



(上段左より)猿八座、西橋八郎兵衛と逸見クローによる浄瑠璃人形街歩き／講演を翌日に控えた大英図書館、ノレッジセンターホール前のキーン先生／本番直前、緊張感溢れる越後角太夫／ロンドン公演のリハーサルを見守るキーン先生と鳥越文蔵 早稲田大学名誉教授

(下段左より)初演を見守るキーン先生と鳥越文蔵 早稲田大学名誉教授／公演スタート。一首でロンドンの観客を古浄瑠璃の世界へ誘う／無事公演を終え満足げな西橋八郎兵衛、越後角太夫、キーン先生／越後角太夫と猿八座。大英図書館を象徴するニュートン像の下で

\*ロンドン公演は、国際交流基金、大英図書館の主催、ロンドン公演実行委員会の制作で2017年6月2日、3日の両日、大英図書館ノレッジセンターホールで上演されました。

## ドナルド・キーン、鳥越文蔵、越後角太夫(キーン誠己)、西橋八郎兵衛、猿八座…。復活上演以来、皆の夢であったロンドン公演の実現、そして、正本との五十五年振りの再会。そこには大きな困難が…。

ロンドン公演、それは人と人の絆が何よりも大切だと言うことをあらためて教えています。大英図書館での里帰り公演に秘められた多くの人々の思いを、一本の人形浄瑠璃が生み出したロンドン公演を、宮澤正明が切り撮った写真の世界で紹介したいと考えます。



『越後国柏崎 弘知法印御伝記』正本(大英図書館所蔵)／物語は虚構を加えた高僧の一代記で、自らの放蕩が元を妻を亡くした男が出家を志し、高野山へと向かうというもの。1962年に鳥越文蔵先生がロンドンの大英図書館で発見。日本で『古浄瑠璃集(大英博物館本)』として上梓。



猿八座／西橋八郎兵衛が1995年に旗揚げ。越後角太夫と「弘知法印御伝記」の復活上演を目指して立ち上げた越後猿八座が2011年に解散した後、西橋八郎兵衛は休止状態にあった「猿八座」の活動を再開。現在は数ある古浄瑠璃の中から現代向きの作品を選び、復活上演に取り組んでいる。

### 《入館料》

大人 500円  
中学生 200円  
小学生 100円

\*入館料で特別企画展を鑑賞できます

### 《開館時間》

10:00~17:00  
入館受付は16時30分まで  
月曜休館  
祝日・振替休日の場合はその翌日が休館日

### 公益財団法人フルボン吉田記念財団 ドナルド・キーン・センター柏崎

新潟県柏崎市諏訪町10-17  
<http://www.donaldkeenecenter.jp>

TEL 0257-28-5755

アクセス◎ JR 信越本線「柏崎駅」前より市内循環バス「かざぐるま」東本町先回り線「中央町」バス停下車徒歩約3分



### 宮澤正明 MASAAKI MIYAZAWA

みやざわまさあき◎1960年 東京生まれ。日本の原風景の撮影をライフワークとする。「Red Dragon」をはじめ国内外にて写真展を数多く手掛ける。第六十二回神宮式年遷宮の写真展「伊勢神話への旅」には来場者5万人を記録。「宮澤正明赤外写真集」「現代に生きる神話(講談社)『浄間』(小学館)『遷宮』(樞出版)